

日本史探究（第3回）確認テスト（やさしい日本語版）

	もんだい 問題	こた 答え せつめい か 説明を書きましょう
1	公地公民 こうちこうみん	
2	※班田収受法 はんでんしゅうじゅほう	
3	三世一身法 さんぜいっしんほう	
4	墾田永年私財法 こんでんえいねんしざいほう	
5	摂関政治 せっかんせいじ	
6	藤原道長 ふじわらのみちなが	

7	国風文化 こくふうぶんか	
8	源氏と平氏 げんじとへいし	

	もんだい 問題	こたえ 答え ごく か 語句を書きましょう
1	と ち じんみん くに おおやけ 土地や人民は国（公）のもので、私有を認めないとい う律令 制度の原則。	
2	りつりょうたいせい さだ ほうりつ さい 律令 体制で定められた法律で、6歳になると、国から田 が与えられ、死ぬと、国に返す。田をもらうと、税を納 める義務がある。	
3	ねん だ ほうりつ た ふ あたら つく 723年に出された法律。田を増やすため、新 しく作った 田は、子・孫・曾孫の三代までに限り、私有してよいこ とにした。	
4	ねん だ ほうりつ あたら つく でん し ゆう 743年に出された法律。新 しく作った田は、私有してよ いことになった。	
5	へいあんじだい ちゅうき ふじわらし てんのう がいせき てんのう きさき ちち 平安時代中期、藤原氏が天皇の外戚（天皇の妃の父な ど）として摂政・関白の地位を独占し、政治を行っ た。	
6	ねん ねん へいあんじだい ちゅうき きぞく にん むすめ 966年～1027年。平安時代中期の貴族。4人の娘を 天皇の妃にし、3人の天皇の外戚として権力を握っ た。藤原氏の摂関政治の最盛期の人物。	
7	へいあんじだい ちゅうきこう はってん にほん ふう ぶんか 平安時代中期以降に発展した日本風の文化のこと。	
8	てんのう しそん みなもと たいら せい も ぶし か 天皇の子孫で、「源」、「平」の姓を持つ武士の家 系。武家の中心的な存在だった。 げんじ へいけ い 源氏と平家とも言う。	